

平成22年度 第3回神林地区地域審議会 議事録

1. 開催日時 平成22年11月17日(水) 午後1時30分～午後4時10分
2. 開催場所 神林支所 3階第3会議室
3. 出席委員 大嶋芳美、岩浅 孝、石田フミ、近 秀一、鈴木誠兒、小野 篤、  
小田美千子、三浦公平、岸 愛子、小池知恵蔵、横山一巳
4. 欠席委員 渡辺優子
5. 出席職員 田村神林支所長  
(事務局) 神林支所地域振興課；山田課長代理、田村主査
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

平成22年度 第3回神林地区地域審議会次第

日 時；平成22年11月17日（水）  
午後 1 時30分～

会 場；神林支所 3 階第 3 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 市民協働のまちづくりについての講演会ビデオテープの視聴

4 審 議

( 1 ) 神林地区における「市民協働のまちづくり」の諸課題について

( 2 ) その他

5 そ の 他

6 閉 会

## 会 議 経 過

### 1 開会 (13:30)

事務局； みなさまにはお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。本日、渡辺委員より欠席の連絡を受けておりますのでご報告いたします。これより第3回神林地区地域審議会を開催させていただきます。

### 2 会長あいさつ

会 長； みなさんごめんください。地域審議会も第3回を迎えました。今回は、市民協働のまちづくりの講演会ビデオを視聴いただき、その後、市民協働のまちづくりについて、今後、区長会等へ説明することを踏まえ、みなさまから建設的で、この地域に合った意見をまとめていきたいと考えておりますので、よろしくお願います。

### 3 市民協働のまちづくりについての講演会ビデオテープの視聴

(講演会ビデオ視聴)

(14:32休憩)

(14:40再開)

### 4 審 議

#### (1) 神林地区における「市民協働のまちづくり」の諸課題について

事務局； 前回の会議で神林地区は小学校区単位の五つの協議会でよいのではとの意見をいただきました。今後、協働のまちづくりを具体的に進めるわけですが、進め方についてみなさまからご意見をいただきたいと思えます。

会 長； 協働のまちづくりの考え方を浸透させるため、説明会をどの単位で、どのくらい行えば良いか忌憚のないご意見を願います。

委 員； 神林地区は、他の地区と比べると核となるものがない。核となる誇れる場所がほしい。

委 員； まず、住民からアンケートをとって何を望んでいるのかを確認してから進めるべきだと思います。住民の声を聞くことが大切だと思います。

会 長； 地域審議会で今まで行ってきたようなことを5地区でもアンケートをとるなりして意見集約をし、何を望んでいるのかを捉えてほしいということですね。

委 員； 小学校区単位で協議会を作って進めるとのことだが、まず、輪投げのような簡単な活動を通して、仲間づくりから始めてはどうかと思います。顔を合わせる機会が増えれば、その中からいい案が生まれるのではないかと思います。

委 員； 人が集まればいろいろな発想が出てくると思います。

事務局； 神林地区で五つの協議会を立ち上げたとしても必ず協議会単位で動かなければ

ならないということではありません。協議会で事業を行うこと以外にも集落単位で取り組むようなことも出てくると思います。話し合いの中でさまざまな手法が出てくると思います。

会 長； 神林地区内で早く成功例が出てくれば手本になると思います。

委 員； ビデオの中で国の補助金の話があったが、集落単位ではもらえないのか。

事務局； 今までの補助金は施設整備などハードに対するものであったが、今後はソフト事業に対しても補助金が出るようになるのではないかとということで、その際に受け皿となる協議会などが立ち上がっていないとももらえないということだと思えます。

委 員； 以前の話だと内容に関係なく補助金を出すということだったと思うが。

事務局； 以前お話しした協働のまちづくり交付金は、市単独の交付金で使い方は協議会で話し合って決めていくことになります。

会 長； 市民協働のまちづくりという言葉自体がわかりづらいが、今後、説明会を行うにあたり、どの範囲で説明会を開催したほうがよいでしょうか。

委 員； 集まりやすさを考えれば、小学校区単位でよいと思います。

会 長； 区長への説明のほか、集落役員等への説明も必要になってくると思います。意思統一が重要になってくると思います。

委 員； いろいろな人の意見が必要だと思えます。年代によってやりたいことが違うと思えます。消防団や小中学校の父兄など若い人たちの意見も聞く必要があると思えます。

委 員； 私も委員の意見に賛成です。先ほど核となる場所の話がありましたが、核となる人も重要だと思えます。若い人たちの夢はこれから長く、いろいろな考え方があると思えます。

河川管理などすでに協働で行ってきたこともあるので、まず、いろいろな話を出してもらえばよいと思えます。

会 長； 幅広い年齢層の方が参加してもらえるような説明会にしていきたいと思えます。

委 員； 西神納地区では、先生方との懇談会を開催し、学校のことや地区のことを話し合っています。

委 員； 最初に区長会へ説明しなければならないのでは。

事務局； 今月の26日に区長さん方に協働のまちづくりについての概要は説明しますが、具体的な話はこれからになると思えます。ビデオにもありましたが、これから段階的に無理をしないで進めていくことになると思えます。

来年度1年くらいかけて説明し、浸透させていきたいと考えていますが、浸透しないようであれば、もう1年くらいかけてもよいのではと考えています。その間にさまざまな意見が出ると思えます。

会 長； 地域ごとの課題把握はどのようにして捉えていったらよいでしょうか。説明会やアンケートなどもありますが、どのようにしたらよいでしょうか。話題にあげないことには先に進まないのでは。

委員； 地域審議会で出る意見はだいたい同じになってきた。

事務局； 5地区で別々の取り組みをしてもらえればうまく進むのではないかと思います。うまくいかない場合もあると思いますが、神林地区内であれば情報交換も可能ですのでお互いに情報交換し、交付金をうまく使ってまちづくりを進めていただければと思います。

会長； 先進事例を見て実態を知ること大切だと思います。

委員； 先頭に立って物事をやりたくても自分の仕事がありなかなか難しい。若い人は特にそうだと思います。ボランティアで行っているのが難しいと思います。

事務局； 協議会の役員の方も無報酬では難しいと思います。この辺もこれから考えていかなければならないと思います。

委員； 役員になる人はどこへ行っても同じような顔ぶれです。

委員； 各地区に職員を配置するということがあったと思うが。

事務局； アドバイザー的な担当職員は配置します。

委員； 事務は行わないのか。

事務局； 事務も行います。

委員； 協働のまちづくりの会合に行くと、観光分野の方なども出席しているが、そういった分野の方とつながっていくのか。

事務局； 神林地区地域審議会では、まず地元を優先して考えていくことになると思いますが、そういった観光分野などの方々と共同して事業を行うことも将来的には出てくるかもしれません。

委員； 5地区合同で事業を行うこともよいのでは。

事務局； それも可能だと思います。

会長； 集落でお金がなくやれなかった事業や、10年間も行っていない事業なども活性化につながるということで出てくると思います。集落の集まりなどで時間をとって話し合いが出来ればよいと思います。小さな積み重ねが大きな事業へと発展するのではないのでしょうか。

事務局； 各集落で事前に連絡すれば時間をとっていただけるものではないでしょうか。

会長； 協働のまちづくりだけの議題で集まるのは難しいと思います。

事務局； 課題を聴くにも各団体の集まりに出向き説明し、その後、意見を聴くことになると思います。1回行っただけでは意見は出にくいと思います。

会長； 最初のころは、苦情が多く出るのではないのでしょうか。

委員； 集落の集まりはほとんど日曜日ですが、日曜日でも説明に来てくれますか。

事務局； 伺います。

委員； まず、区長会や集落の役員などが協働のまちづくりを理解しなければ、それ以外の方が理解するのは難しいと思います。

会長； P T Aや公民館の運営委員会などの会合で時間をとってもらって協働のまちづくりについての説明が出来ればよいと思います。

事務局； 10分程度でも宣伝出来ればよいと思います。

会長； 大変なことだと思いますが、行政が地域に入らないことには進まないと思いま

す。行政が出てくることによって住民のみなさんに誠意が伝わると思いますし、信頼関係が築けると思います。

事務局； 各委員より課題のとりまとめ方法や周知の方法などお聞きしましたが、まず、積極的にお知らせし、そこから住民の方がどのような意見を持っているのかを捉えながら進めていくというようなまとめ方を考えていますが、よろしいでしょうか。

一 同； 異議なし。

## (2) その他

委員； 市の広報誌に協働のまちづくりについて載せたほうがよいと思います。それから説明会を開催するとのことですが、PTAや集落に対して何回程度説明会を開催しますというように、説明会の進め方を決めておいたほうがわかりやすいと思います。

委員； 情報基盤整備事業の進捗状況は。

事務局； 1月の中旬ころから宅内工事に入り、4月1日には運用開始する予定です。4月1日から2ヵ月程度はお試し期間として料金はいただかないという方針で考えています。

委員； 農協の有線放送は撤退するとの結論は出ていますか。

事務局； 市の情報基盤整備事業が4月1日から開始となれば、3月31日で終了ということになると思います。はっきりしましたら文書等でお知らせしたいと考えております。

11月28日開催の事務嘱託員会議に資料の11ページから14ページまでを資料として提出したいと考えております。

## 5 その他

事務局； 次回4回目の地域審議会で今年度のまとめとさせていただきたいと考えておりますが、4回目は2月に開催させていただきたいと思います。開催日が決まりましたら、みなさまに文書で通知させていただきます。

会長； 集落等で話し合うこと自体が一番意味があることではないかと思っておりますので、数多くの会合を重ねながら、自分たちの道筋をみんな決めていきたいと考えております。長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。本当にご苦労さまでした。

## 6 閉会(16:10)